



# 地下鉄子どもアート レポート

令和4年度ユースチャレンジ！コラボプロジェクト



学生団体ari



# 事業内容

## 解決したい課題

- ・ 路上や駅は毎日通勤通学で通る場所にも関わらず、気持ちの安らぎにくい環境
- ・ 子どもの家庭や学校以外の地域や地域の人との繋がりが希薄

## 事業目的

- ・ アートによるケアとまちの活性化
- ・ 子どもの自己表現とその受容の場の創出

# 事業内容

## 事業協働先

仙台市交通局の皆さま

はまちひろ先生 美術家

オハヨウくつしたこども絵画造形教室講師

がんじー先生 似顔絵作家

---



# 事業内容

地下鉄仙台駅構内の壁面に子どもたちと共同制作した作品を展示する

- ・ 作品を制作するワークショップを3回開催
- ・ 展示の告知は各ワークショップにて行った
- ・ 事業効果測定としてアンケート調査を展示期間中に5日間行った
- ・ 子どもアートイベントの情報を発信するためのSNSアカウントの開設と  
学生団体ariのHPの作成

→HPを今後の活動のアーカイブと告知用として利用し、そこで協賛金を募る

# 制作ワークショップ#1

**青空縁日** 2022年10月8日 10時～15時

**開催場所** 宮城野区中央市民センター

**募集方法** 青空縁日の広報、繋がりのある放課後等デイサービスや児童発達支援を行う方々への告知

**来場者数** 延べ100名以上

**活動内容** 作品の背景となる画用紙に自由に絵を描く

# 制作ワークショップ#1





# 制作ワークショップ#2,3

2022年11月～12月

**開催場所** オハヨウくつしたこども絵画造形教室  
アートフィールドくうか

**参加者数** 約30名

**活動内容** 背景の上に重ねる紙版画とダンボールを使った  
作品を制作

作品のテーマは「仙台、宮城の好きなところ」  
と「わたしの好きなもの」



# 制作ワークショップ#2,3

紙版画





# 制作ワークショップ#2,3

ダンボール  
を型取り  
色を塗る





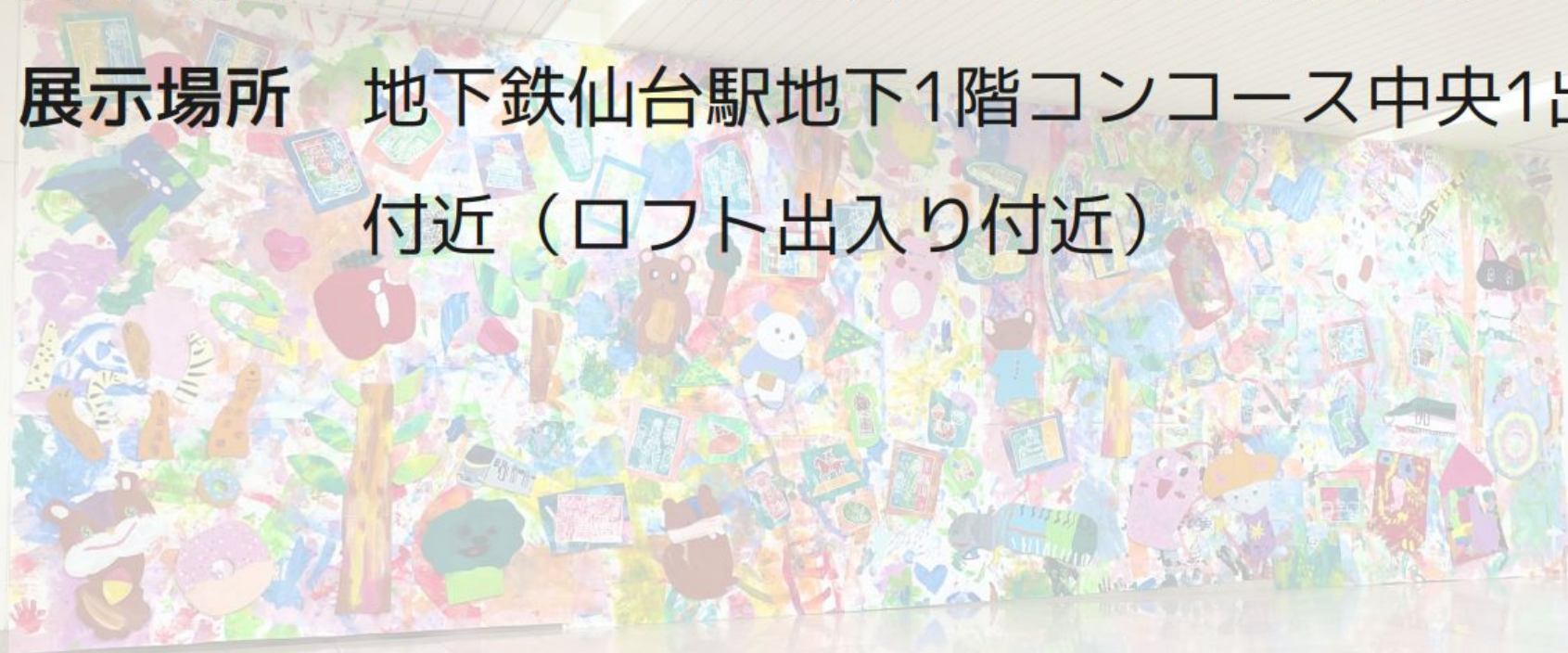




# 作品の展示

展示期間 2022年12月15日～2023年1月29日

展示場所 地下鉄仙台駅地下1階コンコース中央1出入口  
付近（ロフト出入口付近）



# 展示作業









# 効果測定

実施日時と足を止めてくださった人数

2023年1月21日（土）13時～15時、12人

2023年1月23日（月）13時～15時、2人

2023年1月26日（木）16時～18時、4人

2023年1月27日（金）15時～17時、6人

2023年1月28日（土）14時～16時、10人

→このうちの10名がアンケート回答者

# 効果測定

## アンケート調査 用紙を配布する形式で実施

### 質問項目

Q1 アート作品を観ることは好きですか？

Q2 普段は何もないところにアート作品があったとき、あなたの心はどう変化しましたか？

Q3 アート作品を飾ることで、景観が良くなったと思いますか？

Q4 あなたがもしポイ捨てをするとしたら、どんな場所に捨てますか？

Q5 その他、地下鉄駅構内などの町なかに日常的にアートを観て楽しめることについてどう思いますか？

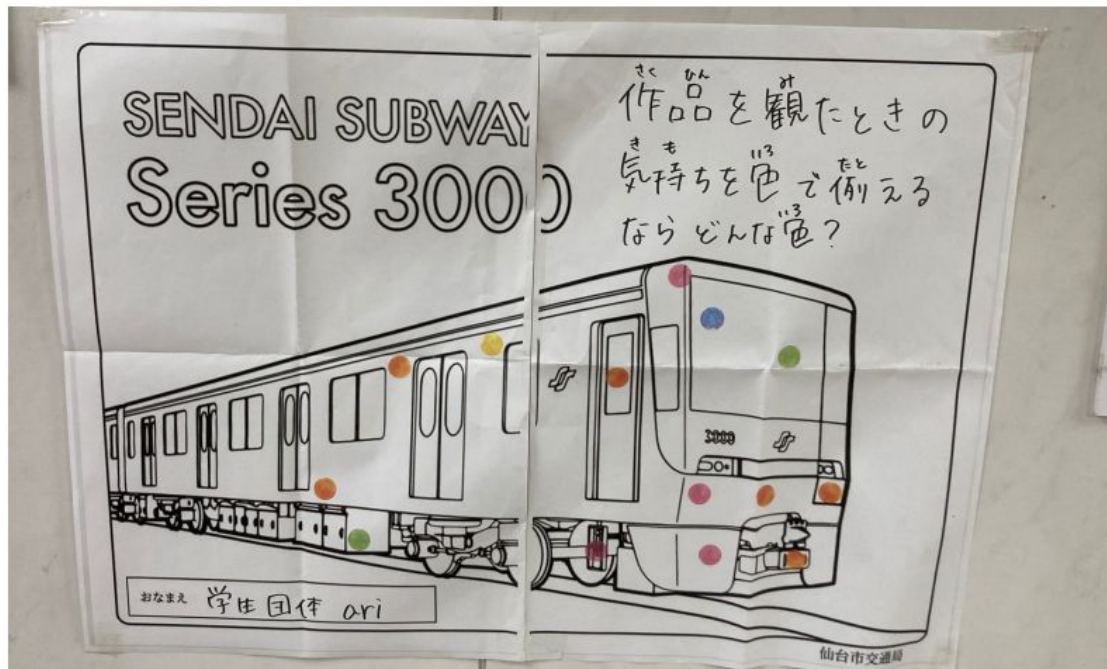
Q6 仙台に具体的にどんなものがあったら、さらに居心地の良いまちになると思いますか？

# 効果測定

子どもたち→その時の気持ちを表す色のシールを貼ってもらう



14人の子どもたちが参加





# 効果測定

## 出会った方々

子連れの方

高齢の方

高校生、大学生

作品を作った子どもたち

観光客

子供に関わる職業の方



# アンケート結果（一部抜粋）

Q1 アート作品を観ることは好きですか？（n=10） 回答数

①とても好き 3

②少し好き 6

④あまり好きではない 1

Q2 普段は何もないところにアート作品があったとき、あなたの心はどう変化しましたか？（n=10）

④少し明るくなった 5

⑤明るくなった 5

Q3 アート作品を飾ることで、景観が良くなったと思いますか？（n=10）

①そう思う 8

②少しそう思う 1

⑤そう思わない 1



# 効果測定による結果

- ・ アンケート回答者は、作品に興味を持ち足を止めて下さった方にご協力いただいたので結果が一般的な市民の回答とは限らない
- ・ 回答者はアートが好きの方が多く、作品によって気持ち明るくなったと答えた方が多かった
- ・ 足を止めてくださる方の層は時間にゆとりのある方が多かった  
→ 子どもたちや子育て世代

# 効果測定による結果

・通りすがりの方の声

「綺麗だね、かわいいね」

横目でちらりと見てくださる方も、

・足を止めてくださった方の声

「らくがきよりもアートが増えてほしい」

「すごく明るい気分になる」

「駅内で変化もあって良いと思う」



# 感じたこと

アートには

人と人を繋ぐ力

心に安らぎを与える力

空間を明るくする力

言葉以外で自分を表現する力

道具さえあればその空間が様々な人にとっての居場所になり得る力  
がある

# 今後の活動

- ・ イベントの継続

仙台市内でアートに関するイベントやワークショップを地域で開催

- ・ アートによる居場所

5月5日のこどもの日に仙台市内でアートに関するイベントを行うか、

アートによる子どもの居場所作り を開始

- ・ ホスピタルアート

はまちひろ先生と一緒に入院中の患者さんとアートを楽しむ活動を病院で行

い、治療が目的とされる病院でアートを通して少しでも心安らぐ時間を作る



# 今後の課題

- ・ イベント開催場所と展示場所の確保
- ・ 継続的に行っていくための資金の調達方法→HPによる協賛金の募集
- ・ 作品の利活用